

9月29日の国内株式市場の下落について 米国政治の不透明感が日本株にも波及

2021年9月29日

直接の下落要因は米国株安だが、背景に米国政治の不透明感

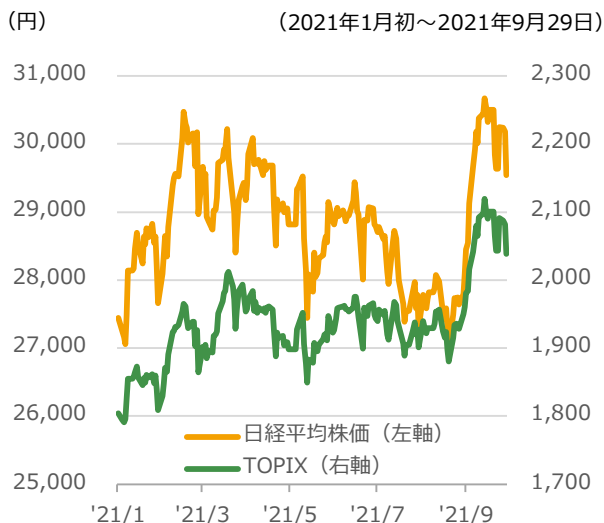
9月29日の国内株式市場は、日経平均株価が2.12%下落、TOPIX（東証株価指数）が2.09%下落しました。株価下落の直接的な理由は、前日の米国株の下落です。米国株が下落したのは米国金利の上昇が嫌気されたためですが、その背景として以下の2点が指摘できます。

- 先週のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で示された参加者の政策金利見通しにおいて、比較的速いペースでの利上げを予想する参加者が一定程度いたこと
- 米国上院で当面の連邦債務上限の適用停止とつなぎ予算に関する法案が共和党の反対のため成立せず、デフォルト（債務不履行）や政府機関閉鎖への懸念が高まったこと

FOMCの利上げ見通しは速いペースと緩やかなペースとに二分されており、パウエル議長など執行部は緩やかなペースを支持しているとみられることから、速いペースでの利上げが確定的とはいえません。

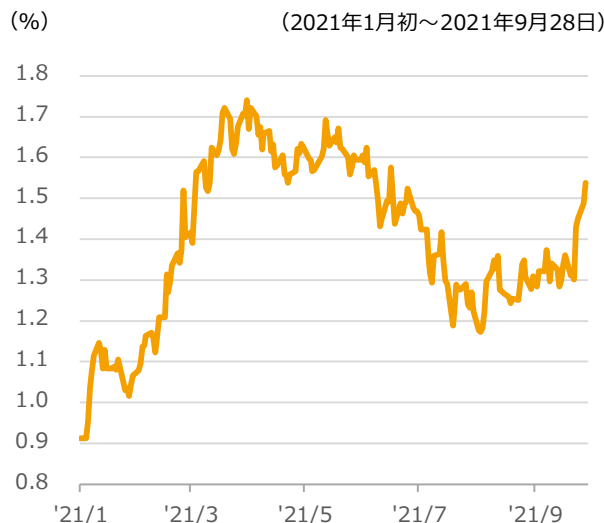
債務上限の適用停止とつなぎ予算に関する法案は、成立しなければデフォルトや政府機関閉鎖のリスクがあります。ただし、これは民主党と共和党の政治闘争として度々起こっていることであり、通常は時間切れまでに合意します。国民に不便を強いるような結末は両党の支持率にもマイナスになるためです。したがって目先は不透明感が続く可能性があります。混乱が長期化する恐れは小さいと想定されます。

日経平均株価とTOPIXの推移



(出所) ブルームバーグ

米国10年国債利回りの推移



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management